



**会長** 武川 毅  
**幹事** 千葉 正宏  
**会報** 猪股 育夫

例会場 ホテルサンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327  
 例会日 毎週木曜日 12:30~13:30  
 事務所 ホテルサンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327

## 第2789回例会 (Web例会) 2021. 9. 10 No.6

〈ガバナー公式訪問 Web〉

・休会となった例会日の会長要件・幹事報告及び8月9月の理事会議事録

◎8月26日(木)分 (休会)

**会長要件** 武川毅会長

お盆も過ぎ、8月の例会実施を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染の急激な広がりを考慮し、安全なクラブ運営を行うため例会の開催が不可能となり、非常に残念に思います。

8月19日(木)に、江川元徳会員のスピーチを予定しておりましたが、今回の休会により伺う機会を逸してしまいました。今期中に時間がとれば是非発表をお願いしたいと思います。

8月26日(木)には、熊谷敏明会員増強委員長の「会員増強フォーラム」を予定しておりました。当クラブにおきまして重要な事項であり、後半に時間を割いて開催していただきたいと考えております。

8月12日(木)の例会では、山田正会員に急遽スピーチをお願いし、快く引き受けていただきました。本当にありがとうございます。「自社のコロナ対応の内容」についてお話をいただきありがとうございました。

8月24日より東京2020パラリンピックが開催されました。日本全体にまた明るい話題を期待したいと思います。

8月27日より9月12日まで宮城県内に緊急事態宣言が発せられました。9月の行事についても随時まわりの状況を見ながら対応していきたいと思っております。一日も早く通常例会が開催できるように望みます。

**幹事報告** 千葉正宏幹事

・特になし

8月の定例理事会議事録 (8/5(木)分)

・協議内容

(1)前年度決算及び本年度予算について  
決算書及び予算書を確認した。

(2)9月10日(金)に行われる「ガバナー公式訪問」について

1) コロナ感染拡大のため、Webでの開催について各クラブへの連絡を行う。

築館RC・栗駒RCは小野寺前会長が連絡する。

若柳RCは千葉幹事が連絡する。

2) 基本案は、各クラブの会長・幹事は佐沼会場に出席し、会員は各会場でWebにより開催する。

(3)クリーンキャンペーンについて

来月行われるため、志賀昭洋委員長が準備等を行う。

(4)地区ロータリー財団セミナー・補助金管理セミナーについて

参加者：武川毅会長、佐藤敬喜R財団委員長  
菅原慶一ガバナー補佐、八谷郁夫P G

(5)コロナ対応について

コロナ感染が拡大しているため、例会開催中止の判断及び再開の判断を会長、幹事に委任する。

(6)その他

1) 8月12日(木)のスピーチ変更

千葉吉男会員 → 山田正会員

2) 9月30日(木)「米山記念奨学会」フォーラム時に奨学生がスピーチを行う。

◎9月2日(木)分 (休会)

**会長要件** 武川毅会長

9月となり、いくぶん涼しくなりました。8月27日より9月12日まで宮城県内に「緊急事態宣言」が発せられております。皆様お変わりありませんか？

9月のRI行事が「基本的教育と識字率向上月間」となっております。教育における差別を減らし、識字率を高めるための支援をしていくことが考えられます。

奉仕プロジェクトを通じて奨学金・教材・学用品の寄贈など、奉仕プロジェクトを通じ教育支援を行っていかうと考えております。また国内外を問わず、家庭や貧困による教育環境の悪化は避けられない状況にあります。公的な補助では補えないようなところも考慮しなければならないと思っております。

8月24日より、東京2020パラリンピックが開催されました。子供たちがいろいろな状況におかれた選手たちを応援することにより、普段の学習では得られない

貴重な経験になるのではないかと思います。選手の活躍で日本全体に明るい話題が提供されています。

新型コロナウイルスの感染の急激な広がりを考慮し、安全なクラブ運営を行うため、随時まわりの状況を見ながら、これからの行事についても対応していきたいと思っております。「緊急事態宣言」が解除され、一日も早く通常例会が開催できるように望みます。

**幹事報告** 千葉正宏幹事

・余目RCより、創立50周年記念式典中止のお知らせ  
・登米市ミュージカルを支える会より

公演協賛に対する御礼状と公演延期のお知らせ

・米山梅吉記念館より、館報38号(秋号)が届く

・「ザ・ロータリアン誌」が届く

・9月のロータリーレート 1ドル=110円

・本日、午後6時30分より、Webにて理事会をオンラインで行います。

## ◎9月の定例理事会議事録 (9月2日(木)分)◎

。議事内容

(1)ガバナー公式訪問について

開催方法及び日程を会員に連絡する。

(2)「ロータリー奉仕デー」千年希望の丘除草・清掃について。参加を見送る。

(3)クリーンアップ湖沼群実施について

要請が来た時点で状況判断する。

(4)米山月間フォーラムについて

佐々木源悦米山委員長と奨学金を含め協議する。

(5)休会による行事変更について

フォーラムを優先に変更する。

(6)その他

会員の携帯電話番号を確認する。幹事のみが把握し、幹事の引き継ぎ事項とする。

◎9月10日(金)分

〈ガバナー公式訪問 Web例会〉12:30~13:30

・鈴木俊一ガバナーは、仙台からWebで参加

・4クラブの会長・幹事を含め参加希望の会員はWebで参加

○式次第 司会進行：千葉正宏幹事 (佐沼クラブ)

12:30 開会点鐘 武川毅会長 (佐沼クラブ)

ロータリーソング

四つのテスト

鈴木俊一ガバナー及びゲスト紹介

参加クラブ紹介

会長要件 武川毅会長 (佐沼クラブ)

幹事報告 (各クラブ幹事)

鈴木俊一ガバナー 講話

次週の予定 (各クラブ幹事)

閉会点鐘 武川毅会長 (佐沼クラブ)

**会長要件** 武川毅会長

本日は、2021-2022年度2520地区、鈴木俊一ガバナーをお迎えしての会となります。緊急事態宣言が続いております中、本日は当地に来ていただきかった

のですが、リモートとはいえお迎えできたことは大変うれしく思っております。後に講話をいただくこととなります。鈴木ガバナーよろしくお願い致します。

**幹事報告** 千葉正宏幹事

・若柳RCより、活動計画書が届く

・登米市環境市民会議より

1. 通常総会の書面決議結果の通知 (賛成多数で議決)

2. 秋のクリーンアップ湖沼群の中止のお知らせ

・佐沼高等学校より

ETA年会費納入に対するお礼状が届く

◎鈴木俊一ガバナーの講話

国際ロータリー第2520地区、2021-2022年度のガバナーを務めます鈴木俊一と申します。どうぞよろしくお願い致します。

はじめに、コロナ禍で様々なご苦労をなされている皆様へ心からお見舞いを申し上げます。そして、その様な方々へのケアのためにご苦労されている皆様へ心からお見舞いを申し上げます。又、医療関連に従事されているロータリアンの皆様へ深く御礼を申し上げます。

本日は、公式訪問として佐沼・築館・若柳・栗駒の



合同例会へお伺い致しました。八谷バストガバナーからはいつも大切なお指導をいただいております。どうもありがとうございます。地区の役員と致しまして、菅原慶一ガバナー補佐をはじめとした皆様に、この場をおかりしまして御礼を申し上げます。ありがとうございます。

本日は、私の自己紹介、地区の活動状況と予定、国際協議会の報告、シェカール・メータRI会長のお考え、それに対応する地区の活動のことをお話致します。

私は宮城県塩釜市で生まれ、東北学院高校、東北学院大学法学部を卒業致しました。広告会社へ就職し京都本社と名古屋勤務、仙台へ転勤で戻りましてから現会社へ転職、保険代理社として独立した直後2005年に仙台南RCへお誘いいただき入会いたしました。

その後ロータリークラブの地区の青少年奉仕委員会のローターアクト委員長、青少年奉仕委員会委員長を経験致しました。

現在の地区の活動と予定をお話致します。新型コロナウイルスにより昨年の始めから世界中の人々の社会生活は根底から覆されました。ロータリークラブの活動におきましても影響は深刻でした。各クラブでは例会や活動を休まざるを得ず、地区の予定行事の多くも中止を余儀無くされてしまいました。しかしながら、ディスタンスを守って従来からの例会を開催したクラブ、ネット環境を整備してZOOM等のシステムで例会や会議を行ったクラブもあるようです。食事に関しては黙食もしくは食事なし、例会後のお弁当持ち帰り、ロータリーソングは音楽だけ等、ロータリアンは様々な工夫の中で奉仕活動をされていらっしゃいます。

ワクチンの接種に関しては、いよいよ各地の会場で開始されていますが、その効果が発揮される時期は残念ながら不透明です。我々は当面对策の手を緩める訳にはいきません。当地区の行事を以前の状況に戻して活動するためには、本年度も様々な対策が必要となります。多少の時間がかかるかも知れません。皆様のご協力をいただいてロータリー活動を推進していきたいと考えております。

今年度の地区行事につきまして現在決定していることを申し上げます。

インターアクトについて、今年は高校生の活動発表・集合研修は例年の様には行いません。ネットを駆使しての方法を地区青少年奉仕委員会は考えております。本日15時からZOOMでの会議を行います。

ロータリーの地区財団について、研修会は8月7日13時からZOOMで開催致しました。財団への申請方法等、とても重要な内容をお伝えしましたが、一部パソコンソフトの関連トラブルで実行できなかったクラブへはユーチューブやネット、資料手配を対応致します。

RLIについて、こちらは既にパートIを9月4日ZOOMで行いました。各クラブの将来リーダーを担っていただける会員には、是非受講してほしいセミナーです。本年度は会長やベテランのクラブ役員の方々も受講登録されております。11月に開催する予定のパートIIからでも受講できます。追加で受講の方々を是非

お待ちしております。

短期・長期の留学生について、受け入れ側の相手の状況や移動の交通機関等総合的な見地から本年度は選考も中止、次年度からの選考、次々年度からの派遣を再開する予定です。

地区大会は、来年の4月16日・17日を予定しております。ワクチン接種が普及して効果を発揮してくれる筈です。地区内のメンバーで従来型のリアルな大会を考えております。

国際協議会とシェカール・メータRI会長のお考えについて申し上げます。それに対応する地区の活動のお話を致します。

今年度の国際協議会は、2月1日から11日まで開催されました。本来であれば、アメリカ・フロリダ州オーランドでの開催が予定されておりました。しかし、全世界的なコロナ禍のために、本会議や分科会は、やむを得ずオンラインを活用しての開催となりました。開会は現地の時間に合わせて連日日本時間夜11時から真夜中にかけての開催でした。その中で今年度RIのシェカール・メータ会長の様々な考えを伺いました。

2021-2022年度のテーマは「奉仕しよう、みんなの人生を豊かにするために」(Serve to Change Lives)です。代表的な目標として、ロータリアンが過去35年間継続してきたポリオ根絶へ一層の力を込めたいとの思いを伺いました。その他に活動へ以下の重要なポイントを伺っております。当地区でも今年度の活動の柱といたします。

①女性と青少年のサポート

特に女子のEmpowerment、不利な立場にある女子の問題を和らげるように導きましょう。女子プロサッカーリーグが9月から開幕しますが、そのリーグの名は「WEリーグ」と言いWEは、Woman Empowermentの略だそうです。

②会員の拡大

each one bring one世界的には120万人を130万人へ増強します。ここ数年前からロータリークラブの将来を見据えた計画、戦略的計画という考え方の必要性を言われております。

③マイロータリーの登録

各クラブで、ITが不得意な会員にも登録を勧めて100%登録を目指してください。

④現在の会員を大切に

各クラブにおかれましても、例会や奉仕活動を従来通り行うことが難しくなっております。クラブへの所属意識、メンバー同士の情報交換や連帯感、ロータリアン同士の友情を育む機会が作りにくくなっているようにも感じます。ロータリアンの活動の場をコロナ禍と言うことで減らさないでいただきたい。会員が集合しての各種事業や例会の開催が難しい場合はリモートを十分活用した活動の計画を是非お願い致します。クラブの会長・幹事だけでなく指導的立場の方々が会員全体への心配りをよろしくお願い致します。

⑤「ロータリー奉仕デー」の計画と開催

メータ会長は、ロータリアン、ロータリーファミ

リー、ローターアクター、インターアクター、市民の参加による奉仕活動。「ロータリー奉仕デー」の計画、開催を掲げております。私も含めて日本全国のガバナーの連絡会がZOOMを通じて毎月2回のラインの意見交換が随時、毎日行われております。その連絡会の中で、2820地区茨城県のガバナーから呼び掛けがありました。当初は9月12日に「ロータリー奉仕デー」と設定して茨城県内の全55クラブが一斉に海岸清掃を行う予定でした。しかし、コロナ禍のため行事全体は延期されております。この趣旨に賛同して活動を予定しているクラブも多数あります。このプロジェクトは9月4日現在で日本全国34地区中30地区が賛同されております。ブラジル、スペイン、アメリカなど世界41地区で約3万人が参加の予定としております。来年世界大会開催予定のヒューストンRCでも参加を検討しているそうです。当2520地区はクラブ毎の今年度の予定は既に決定されている状況から、海岸や河川、ダムなど馴染みの深い各クラブに判断おまかせしたいと思います。クラブ毎の予算や準備期間の問題もありますので、少人数でよろしいと思います。ロータリアン以外に市民やボランティア団体の方々との輪を広げるきっかけかも知れません。クラブ単独でも奉仕デーの趣旨で清掃奉仕活動の予定が出来ましたら、活動報告、写真等をガバナー事務所までお願い致します。

この活動は、青少年奉仕委員会とも関係があります。青少年奉仕委員会では、プロストロモーションより深め積極的に青少年に関するプログラムを推進して下さいとお願いしてあります。

昨今、ロータリークラブの奉仕活動においては、一つの委員会だけが関係した活動として区切ることが出来なくなってきております。クラブの社会奉仕・清掃活動にローターアクトやインターアクト、その他留学生やクラブ以外の若いの方々をお誘いして開催した場合、青少年奉仕活動にもなります。又、そこに打ち上げ等の親睦奉仕が加わりますと一つの活動が、二つ、三つの委員会の複合した奉仕活動となることがプロストロモーションです。

国際協議会では、ロータリーの中核的価値観として奉仕、親睦、多様性、高潔性、リーダーシップの研修も受けました。又、RIシェカール・メータ会長は、ロータリーの中核的価値観の外にも公平性、開放性の重要性もおっしゃっております。

先日の東京オリンピック開会式で、IOCバッハ会長のスピーチにも多様性と調和の言葉がこめられておりました。又、パラリンピックでも調整社会実現に向けた多様性への理解を促すという言葉がありました。

当地区は、北は岩手県の種市から南は宮城県の丸森まで、とても広い地域を網羅しております。地形は、奥羽山脈、北上山地、平野や盆地、リアス式海岸、穏やかな湾、砂浜、人口100万人を超える都市部や工業地域、ベッドタウンから農業や水産業の地域まで、住んでいる人々の年齢構成も多様性に富んでおります。その地区であるからこそ各クラブの運営の多様性を伸

ばすことが必要です。2520地区は岩手・宮城の2県の融和を目指さなくてはなりません。そのためにこそ地区内の多様性を考慮した上で会員の皆様にクラブ運営・奉仕活動をお願い致します。そこに親睦・奉仕・高潔性、リーダーシップ、公平性、解放性があることで自ずと会員の増強へつながると確信しています。

— 地区役員時代に経験された話は、紙面の都合上割愛させていただきました。

◎9月16日(木)分 (休会)

**会長要件**     **武川毅会長**

先週は、2021-2022年度2520地区鈴木俊一ガバナーをお迎えしてのガバナー公式訪問となりました。当地に来ていただき、お話を頂戴したかったのですが、新型コロナウイルス対応のため、Webによる公式訪問となりました。リモートとは言え、お迎えできたことは大変うれしく思っております。

第1部の会長・幹事会では、各クラブから現在のクラブ運営状況についてガバナーに報告いたしました。そして、お互いの共に抱えている問題の確認をいたしました。

第2部のガバナー公式訪問例会（4クラブ合同）では、各クラブの紹介・報告があり、その後、ガバナーの講話がありました。まず不利な立場におかれている女子の問題の解決と青少年に対するレポートの件、それから会員増強と現会員の退会防止についてもお話がありました。また今後のクラブの問題点について、ガバナーと各クラブの質問と応答がありました。大変有意義な会でありました。

緊急事態宣言が9月12日で終了し、9月30日まで蔓延防止等重点措置となっております。新型コロナウイルスの感染の急激な広がりを考慮し、安全なクラブ運営を行うため、随時まわりの状況を見ながら、これからの行事についても対応していきたいと思います。

一日も早く通常の例会が開催できるように望んでおります。

**幹事報告**     **千葉正宏幹事**

・鈴木俊一ガバナーより

ガバナー公式訪問（Web）開催に対する御礼状が届く

・ガバナー事務所より

RLI研修Part I 修了証が届く（武川毅会長・及川昭宏副会長）

・米山記念奨学会より

奨学生・学友証明書（印海兵奨学生）が届く

・宮城県立迫支援学校より

衛生管理物品等の寄贈に対する御礼状が届く

・ガバナー事務所より

- 「ロータリー奉仕デー」無期延期の通知
  - 「ロータリー研究会第50回記念講演会」の案内
- ・9月23日に予定しておりました「クリーンアップ湖沼群」はコロナ禍ですので中止となりました。